

特集 平成27年度 箕輪町の予算 さらに力強い町へ ～将来を見据えた未来思考型予算～

平成27年度は、まちづくりの今後10年の方向性を示す次期総合計画の策定をはじめ、地方創生のために地方版総合戦略と人口ビジョン、公共施設総合管理計画の策定など、中・長期的なまちの舵取りを考える転機の年です。

今後も安心して住み続けられる町であるために、少子高齢化、人口減少問題をはじめ、地域人材の育成、農林業を含めた産業の振興などの課題に行政と住民ができることを総動員して立ち向かい、次の10年に向けて「さらに力強い」まちづくりを進めるための未来思考型の予算編成としました。

町長インタビュー

人も元気に！まちも元気に！
産業も元気に！みんな元気に！

箕輪町長 白鳥 政徳



■ 将来を見据えたプランニング

教育や子育て、「安全安心なまちづくり」など、これまで町が取り組んできた施策の多くが、すでに多くの町民の皆様を理解され、成果となって表れています。しかし、社会や経済情勢は常に変わっていくということ为前提に、常にその時々々の情勢に見合っているかどうか？という視点で評価や見直しを行い、磨き上げていくことが必要だと考えています。

今までのしっかりとしたまちづくりの基盤を引き続き推進しながら、私が掲げたマニフェスト、

基本施策の30について、できるだけ早く具現化し、町長という職責を遂行していきたいと思えます。今年度は町発足60周年ということでも、その節目にふさわしい施策や、将来を見据えた施策を多く盛り込みました。

そのような基本方針に立ったうえで、将来を見据えた町政全般のプランニングをしていくために、今年度新たに、町民約70人による「みのわ未来委員会」を立ち上げます。直近の課題である少子高齢化や、地域や社会で安心して子どもを育てるまちづくりなどの部分については、前倒しで施策を打っていくつもりです。また、私がかつても声を上げてきました「三元気」をキーワードに、人や産業の元気が出るような施策を盛り込んでいきます。

■ がんばる人を応援し町を活性化

農・商・工の活性化、がんばっている人を支援する仕組みをつくりたい。特に商業については、町の中心市街地の活力低下は、店舗の郊外流出、空き店舗の増加、ひいては人口減少につながっていく

ます。魅力ある商店街づくりの第一歩として、まずは、個々ががんばっている商店のリニューアルなどに、補助金を導入します。それぞれが魅力的な商店として元気になることで、商店街全体を元気にしようという強気の予算ですので、ぜひ活用していただきたいと思えます。

また、農業面については、農業応援団を立ち上げ、地域の「農」に関わりながら暮らし、働き、食事を、という仕掛けづくりを、ぜひ進めていきたいと考えています。



■ みのわの魅力の掘り起こしとブランド発信

個別の産品について魅力を再発見し、磨きをかけるということと同時に、箕輪町というブランドをどういったコンセプトで外に出していくか、という統一コンセプトを

作り、箕輪町のファンを県外などの外に作るといった「みのわブランド戦略」を積極的に進めています。

町には、野菜や果物、酪農に関わる産物など誇れる農産物がたくさんあるものの、なかなか外に発信できていないのが現状です。そこで、みのわブランドを発信する一つの試みとして、長野県のアンテナショップ「銀座NAGANO」で、「二日たべりこ」を開催して、都会の皆さんに箕輪のPRを行う計画です。



地域おこし協力隊の皆さん

また、地域おこし協力隊を1人増員します。今まで「にこりこ」や「たべりこ」など農業や食に関

わる分野を中心に活動していただきましたが、地域の中に入り、その中に埋もれている農産物、伝統行事、古典芸能などを、外からの新しい目で見つめ直すことで、掘り起こし、再発見していただきたいと考えています。すでに活動中の3人の協力隊員と一緒に、内からの掘り起こしと、外への発信の両面から進めて行く予定です。

■ 想いを伝える

今年度は「未来思考型の予算」ということで、ソフト面を中心に、まずは未来に向けて「種」を蒔いたつもりです。地域、社会が子どもを産み育てるということに重点を置き、子育てに関しては、不妊治療、産後ケア、里帰りの際の予防接種費用の負担、学童保育の利料軽減・利用時間の延長、保育料の軽減など、かなり細かい部分まで施策を打ち立てています。保護者の方々の負担を少しでも減らし、また、「箕輪町で子どもを産んでくださって、ありがとうございます」という感謝の気持ちを様々な形で伝えていくことで、お子さんを産み育てやすい、選ばれ

る町でありたいと思っています。教育についても、昨年10周年を迎えた「ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業」など、これまでの成果をふまえ、次のステージへとステップアップしていける取り組みをしていきたいと思っています。



未来を描く——
（「君もアーティストになろう!」にて）

高齢者の方々については、介護・福祉・医療が連携した地域包括ケアシステムの構築を進めています。また、障がいのある方も地域で安心して生活できるよう、相談窓口を明確にするなど、支援の想いを伝えながら、柔軟な対応を図ります。また、この先、より進んでいく高齢化社会に向けて、健康づくりを専門とする「健康推進課」を、これまでの保健福祉課から独立した課として組織し、健康

寿命の延伸、医療費の抑制などへの取り組みを強化していきます。

■ みのわの元気を未来へ

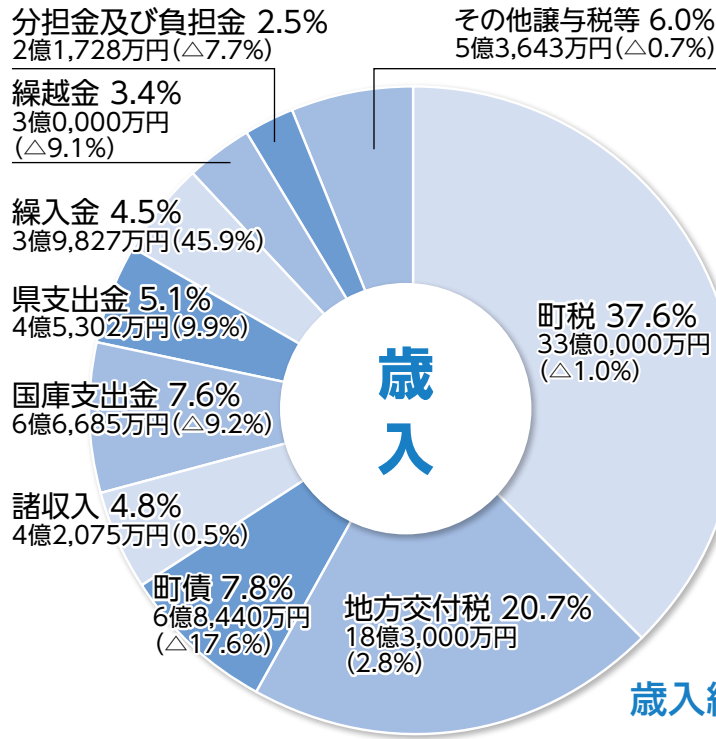
60周年というこの節目の年を、中・長期的なビジョンを改めて考え直す一年にしたいと思っています。「みのわ未来委員会」にぜひ参加していただいて、ブランド戦略、総合計画、地域創生の戦略などについて、皆様のご意見を集約し、みんなで知恵をしばってつくっていきたくて考えています。そのような「投げかけの年」にしたいと思っています。

町民の皆様には、とにかく「元氣」を出していただきたいと願っています。地域のコミュニティもすっかりしていますし、今でも総じて元気だと感じています。人口減少問題など将来予想される課題に対応できる仕組みを構築する時期にさしかかっています。元氣のある今だからこそ、もう一段力を入れ、皆様とともに未来へ向けたまちづくりを進めていきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

歳入の主な状況について

アベノミクス効果や消費税増税後の経済状況は緩やかに回復の動きがみられますが、急速な円安により業種で明暗が分かれている状況の中、**個人町民税**については、必ずしも町民税の伸びにつながっておらず、前年度比1.2%の減収を見込みました。**法人町民税**については、企業収益の一部回復傾向を受け、前年度比40.3%の増収を見込んでおります。

固定資産税については、3年に一度の評価替えの年であることや企業の新たな設備投資が望めないことにより、前年度比8.3%の減収と見込み、町税全体では、33億円と、前年度に比べ3,370万円、率では1.0%の減を見込みました。



歳入総額 88億700万円 (前年比△8,100万円)



まちを元気にします！

町発足60周年関連事業 (PR事業等)

新規



今年には町発足60年の節目に当たり、町民の皆様と考える記念事業を随時実施していきます。

ながた自然公園リニューアル事業

継続

ながた自然公園の大規模リニューアルを実施し、さらに魅力的な公園へと改良します。



総額2億円のプレミアム商品券発行事業

拡充

地域消費の拡大と生活応援・子育て応援のため、プレミアム商品券を2億円分発行します。

銀座NAGANOで一日たべりこの開催

新規

豊かな箕輪の食材と町の魅力をPRするため、銀座NAGANOで「一日たべりこ」を開催します。

自然エネルギー普及事業

新規

(木質バイオマス・小水力検討)
山と水という、町の自然特性を生かした自然エネルギー資源の活用を検討します。

少子高齢化、人口減少問題に挑戦します！

保育料・学童クラブ利用料の軽減

新規

算定方法を見直し、総額2千万円の保育料軽減を図ります。学童クラブ利用料は半額にします。

家庭相談員の設置

新規

子どもを育てる上で問題や悩みを抱えている親の相談体制を進めます。

産後ケア・母乳相談等事業

拡充

出産後の育児不安解消等を目的に、産後ケア・母乳相談等に係る費用の補助を行います。



産科の開業支援

新規

子どもを産み育てやすい環境づくりのため、町内で開業する産科医の誘致を行います。

不妊治療費補助金

拡充

不妊治療費の負担軽減のため、補助の回数制限を撤廃し、利用しやすい環境を作ります。

地域包括ケア体制の整備

拡充

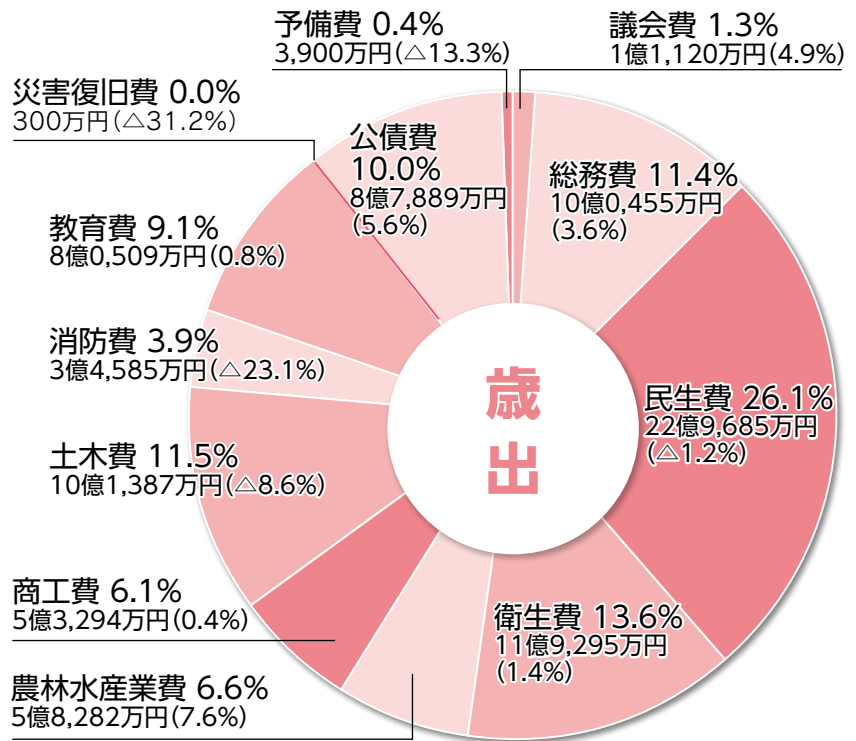
高齢者が住みれた地域で安心して生活できるよう、医療、介護予防、認知症ケアなどが一体的に提供される**地域包括ケアシステム**の構築を進めます。

平成27年度に実施する 主な新規・拡充事業

(27年度当初予算・26年度繰越予算)

歳出の主な増減理由として、総務費は町議会議員・県議会議員選挙費等による3.6%の増、民生費は三町町保育園庭整備による増や国の臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金事業の終了による減等で1.2%減、農林水産業費は地域おこし協力隊1人増、地域農業新興事業（人・農地プラン策定等）等による7.6%増、土木費は国の交付金事業の終了等に伴う8.6%減、消防費は、昨年消防の広域化等に伴う伊那消防組合の負担金があったため、今年度は23.1%の減などにより減ります。

歳出の主な状況について



詳しくは、町HPでもご覧いただけます。

問合せ先 企画振興課 財政係
☎79-3111 (内線111)

歳出総額 88億700万円 (前年比△8,100万円)

安全安心なまちをつくりまします！

町民体育館・武道館・図書館耐震診断 **新規**

防災ハザードマップの更新・気象観測装置の設置 **新規**

消防ポンプ車(第3分団)の更新 **新規**

消防団員の報酬増 **拡充**

町の防災の要である消防団に対する処遇改善のため、消防団員の報酬を見直します。



がんばる人・事業者・地域を応援します！

みのわまち農業応援団の検討 **新規**

町全体で農業を支える仕組みを考えたため「みのわまち農業応援団」の構築を検討します。



多面的機能支払交付金事業 **拡充**

地域の手で農地・農業用施設や地域環境を守る自主活動組織に、引き続き支援を行います。

がんばる元気な商店応援事業補助金 **新規**

町内商店の活性化のため、頑張る元気な商店応援事業補助金を創設し、魅力ある店舗づくりと賑わいの創出を目指します。

創業支援体制の整備 **新規**

町内で起業や創業を考える方への支援体制を作ります。

中・長期的なまちづくりについて考えます！

みのわ未来委員会による総合計画の策定 **新規**

町民の声をしっかりお聞きし、皆さんと未来のまちづくりを考えていきます。

みのわブランド戦略の策定 **新規**

地域の資源、先進的な政策、文化など、町の資源を戦略的に活かしてブランドを作ります。

箕輪町版総合戦略・人口ビジョンの策定 **新規**

少子高齢化、人口減少に立ち向かうため、人口ビジョンとそれを実現する戦略を作ります。

保育園、新図書館についての検討 **継続**

老朽化が進みつつある沢・木下の保育園や、新図書館の建て替えについて検討します。

